

東京外環自動車道 八潮パーキングエリア下部工工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	2-(2) 道路掘削A 2-(4) 捨土掘削A	想定されている土質区分をご教示願います。	道路掘削Aについて、土砂(表土)は土砂C相当、それ以外の土砂は土砂B相当でお考え下さい。 捨土掘削Aについては土砂B相当でお考え下さい。
2	構造物掘削 特殊部 N1,N2,N3,O,P,Q,R,S,T1,T2	ライナープレートは全て購入品と考えてよろしいでしょうか。 特記仕様書「27-6 構造物掘削」の内容において、「6 ライナープレートの撤去、積込み、運搬、処分」と記載されていますが、撤去したライナープレートはスクラップではなく、産業廃棄物として処分するお考えでしょうか。ご教示願います。	ライナープレートは全て購入品と考えており、撤去したライナープレートはスクラップ処分を想定しております。
3	構造物掘削 特殊部 N1,N2,N3,O,P,Q,R,S,T1,T2	撤去したライナープレートを産業廃棄物として処分する場合、想定されている再資源化施設をご教示願います。	上記質問回答のとおりです。
4	盛土工D	2022年10月4日に訂正された金抜設計書において、盛土工Dの数量が、6,024m <sup>3</sup> から5,758m <sup>3</sup> に訂正されています。「設計図面3/15 数量総括表(1/4)」では数量が6,024.4m <sup>3</sup> と記載されており整合がとれていません。5,758m <sup>3</sup> を正と考えれば良いでしょうか。	金抜設計書に示す盛土工Dの数量に誤りがありました。正しくは6,024m <sup>3</sup> となります。 なお、上記については10月19日付けで交付図書を訂正しておりますのでご確認ください。
5	仮設材運搬費	割掛項目「仮設材運搬費」には、山留材の消耗部材は運搬質量に含んでいないと考えてよろしいでしょうか。	山留材の消耗部材についても、仮設材運搬費の運搬質量に含むものとお考え下さい。
6	くい頭処理費	割掛項目「くい頭処理費」において計上される空堀部及び中詰コンクリート部のソイルセメントは、特記仕様書P.20に記載されているとおり建設汚泥(重金属等含有土)として取扱い、処分先は「(株)石井吉豊エンジニアリング」を想定していると考えてよろしいでしょうか。	処分については建設汚泥(重金属等含有土)と同等の処理が必要とお考えください。
7	PCウェル工	PCウェル材料費について、刃口ロットおよび頭部ロットは、共通仮設費と現場管理費の率の対象でしょうか。	積算に関する内容はお答えできません。

東京外環自動車道 八潮パーキングエリア下部工工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
8	工種区分	本工事の工種区分は、「橋梁下部」でしょうか。異なる場合は工種区分をご教示願います。	積算に関する内容はお答えできません。
9	基礎杭工 鋼管ソイルセメント杭	適用された積算基準は「国土交通省 土木工事標準積算基準書 鋼管ソイルセメント杭工」でしょうか。異なる場合は適用された積算基準をご教示願います。	積算に関する内容はお答えできません。
10	特記仕様書 割増対象表参考内訳書	27-45-3 計測項目及び頻度(P72)について、観測回数は盛土施工中は毎日の観測で65回、盛土立ち上がり後は28回(1ヶ月:10回、2ヶ月~3ヶ月:8回、4ヶ月~13ヶ月:10回)となり計93回になると思われます。盛土施工中とは27-29-3種別(P52)の軟弱地盤対策工の真空圧密設備Aの稼働期間と考えられますが、割増対象表参考内訳書の【仮設備工事費】工用電力費では電力使用期間「155日間」と記載あります。盛土施工中の観測回数(65回(65日))に対し日数が多く計上されていますが、その差異についてご教示下さい。	真空圧密設備Aの稼働は、盛土施工前および盛土施工後においても稼働を計画しております。 電力使用期間については、割増対象表参考内訳書に記載のとおりお考え下さい。